



ほけんだより 1月



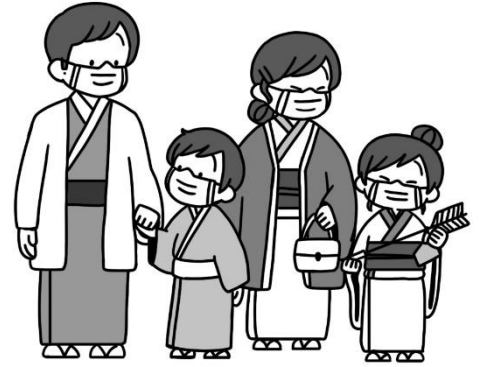
令和3年12月

愛知県立小牧特別支援学校 保健室

冬休み中も新型コロナウイルス感染症対策を！

クリスマスやお正月などイベントが盛りだくさんの冬休み。通常であれば、普段会えない親戚と交流したり、人がたくさん集まる場所でのぎやかに過ごしたりする季節ですが、今年も注意が必要です。

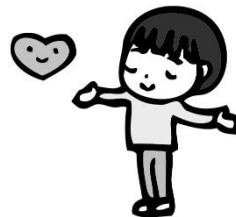
引き続き、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染予防のため、手洗いや部屋の換気などをしっかり行いましょう。



今月の保健目標

寒さに負けず 心身をきたえよう！

「免疫」という言葉を聞いたことがありますか？細菌やウイルスなどから、身体を守るしくみのことです。免疫は、私たちの生活の仕方に影響を受けています。睡眠不足で疲れがとれていないと、免疫はきちんと働くことができません。また、好きなものばかり食べて栄養バランスが崩れたり、運動不足だったりしても働きが弱まります。ストレスも良くありません。この冬も、規則正しい生活で免疫の働きを高めて、元気に乗り切りましょう！



保健室のメンバーの紹介

12月末で吉田梨那先生が退職され、産休・育休から江口恵美先生が復帰します。新たな保健室をよろしくお願いいたします。



☆1月の保健行事☆

日にち	じかん 時間	こうもく 項目	がいとうしゃ 該当者
11日(火) ～24日(月)		しんちょう たいじゅうそくてい 身長・体重測定	ぜんじどうせいと 全児童生徒
19日(水)	13:30～	せいけいげ かけんしん 整形外科検診	たいしやうじどうせいと 対象児童生徒 ※対象者へは案内済みです。

医療的ケア情報

養護教諭の吉田梨那先生が12月末で退職します。3月に大学を卒業後、4月に赴任した吉田先生は、本校が初めての勤務校でした。どの児童生徒にも、真摯に向き合う姿がとても印象的でした。そんな吉田先生からのメッセージです。

こんにちは。養護教諭の吉田です。

12月をもってこの学校での勤務が終了してしまうのですが、最後に1月号の医療的ケアコーナーを任せていただいたので、少しでも私と医療的ケアについての話を書いてみようと思います。

私は、3月に大学を卒業し、縁あって4月からこの小牧特別支援学校にやってきました。養護教諭として働くことはもちろん、いわゆる「医療的ケア児」と呼ばれる子どもたちと関わることや、そもそも肢体不自由の特別支援学校には立ち入ることさえも初めてという、まさに「初」尽くしのスタートでした。だから最初は、これまで言葉でしか聞いたことのなかった「医療的ケア」というものが、とても特別で、どこか遠いもののように感じられました。

この学校に来て少し経った頃、昼の注入を始める場面に立ち会ったことがありました。看護師さんの「はい〇〇ちゃん、いただきます！」という言葉がけを聞いた時に、ハッと気づいたことがあります。それは、医療的ケアは、日常の一コマなのだということ。自分にご飯を食べたり、眠ったりして健康を維持することと同じように、痰を吸引したり、胃ろうから栄養を注入したりして、子どもたちは健康を維持しているのだということ。方法が少し違うだけで健康を守るという目的はみんな同じなのだということ。そう考えたら、医療的ケアは、自分が思っているほど遠いものではないのかもしれないと思うようになりました。

9か月経った今も、毎日が驚きと発見の連続です。知らないこともまだまだたくさんあり、日々勉強を重ねていますし、学べば学ぶほど医療的ケアは奥が深いと感じます。ですが、最初の頃のように、手が届かないくらい遠くにあるものだとは思わなくなりました。そして、自分は養護教諭として、医療的ケアまで含めた子どもたちの健康を考え、守っていきたいと思うようになりました。まだ半人前にも満たない未熟な私ですが、この9か月の間に、何か一つでも子どもたちの力になれたことがあったのならうれしいです。

最後になりますが、悩んだ時、落ち込んだ時、いつも私を救ってくれたのは、子どもたちの優しい表情や満面の笑顔でした。ここで過ごした時間は私の一生の財産です。ところ変わっても、子どもたちの更なる活躍をずっと願っています。短い間でしたが、今まで本当にありがとうございました。

